

# 送 辞

在校生代表 徳元 清也

校庭の草木に新芽が芽吹き、心地よい潮風に春を感じる季節となりました。知念高校を旅立っていく先輩方、本日はご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、先輩方の姿を目にしていると、毎日の学校生活や、部活動、学校行事など、様々な思い出が浮かんできます。部活動では、技術面はもちろんのこと、挨拶や礼儀など社会に出てからも役に立つ多くのことを教わりました。先輩方は私たちにとって、良き相談相手であり追いつきたいライバルであり、そして何より大きな目標でした。私たちは少しでも先輩方に近づけるように、日々練習に励み、大会で活躍できるまでに成長しました。今の私たちがあるのは、先輩方のお陰です。本当にありがとうございました。

また、すべての行事に積極的に取り組み、中心となってリードして下さった先輩方の姿は、私たちのよき手本となっています。高校入学最初の行事であるスポレク大会では、新入生の私たちを相手に手を緩めることなく戦う姿を見て、先輩方の行事に対する熱意を感じました。その中でも、私たちが最も思い出に残っている行事が親睦運動会です。先輩方は、限られた時間の中で、ダンスの創作や後輩への指導、衣装作りまでこなし、親睦運動会の成功のために、取り組んでくださいました。団長をはじめとする先輩方のリーダーシップのお陰で、チーム全員が一丸となり最高のパフォーマンスを披露することができました。9月に行われた知高祭は、各クラスの個性を活かした企画で、すべての演出に観客を楽しませようという先輩方の思いが詰まったものでした。学校全体が熱気と興奮に包まれ、その光景はまさに統一テーマである「熱盛」の体現でした。先輩方の、学業にも部活動にも、学校行事にも全力で取り組む姿を見て、私たちは高校生活の楽しさを実感することができました。

私たちはいつも先輩方の背中を追いかけてきました。そんな先輩方の卒業は、寂しくもあり不安でもありますが、先輩方が築き上げてきた伝統と「和衷協同」の精神を受け継ぎ、さらに、より良い知念高校へと発展させていきたいと思えます。

先輩方はこれから、夢や目標に向かってそれぞれ違う道に進んでいきます。新たな出会いや喜びがあることでしょう。しかし時には、大きな壁が立ち塞がることもあるかもしれません。そんな時には、知念高校で過ごした3年間のたくさんの思い出が、それを乗り越える糧になると思います。先輩方の培った責任感、精神力そして行動力は、困難に立ち向かう力をきっと与えてくれることでしょう。

最後になりますが、先輩方のこれからのご活躍を心よりお祈り申し上げ、在校生代表の送辞とさせていただきます。

平成 31 年 3 月 1 日